

記者発表資料

教育委員会(指導第三課)

件名	被災地への支援並びに被災地の高校との交流に係る報告会について		
1 要旨	<p>県立高校の生徒及び教員が、特定非営利法人AMD Aの協力を得て、岩手県の被災地を訪問し、岩手県立大槌高校(岩手県上閉伊郡大槌町)の生徒と昼食を共にしたり、本県の生徒が集めた支援物品(文具等)を直接手渡したりするなど、交流を行ったことについて報告する。</p>		
2 日時・場所	<p>(1) 教育長訪問 生徒及び教員が教育長を訪問し、被災地で撮影した写真などを基に、活動内容について報告する。 平成23年4月28日(木) 11:15~ 広島県庁東館4階 教育長室</p> <p>(2) 生徒への報告 13時30分から開会する平成23年度「わたしたちの学校は日本一!」事業説明会の中で、県立高等学校・特別支援学校の生徒を対象に、被災地での活動内容について報告する 平成23年4月28日(木) 15:20~ 広島YMCAホール 国際文化ホール</p>		
3 報告者	<p>広島県立福山誠之館高等学校 生徒2名, 教員1名 広島県立黒瀬高等学校 生徒2名, 教員1名 計6名</p>		
4 概要	<p>・3月下旬に県内の公立高等学校・特別支援学校に呼びかけ、支援物品の収集 ・4月上旬に県立高等学校生徒による支援メッセージの作成 ・平成23年4月15日(金)岩手県立大槌高校との交流</p> <p>撮影に当たっては、報告者以外の生徒の顔が写らないようにご配慮ください。</p> <p>AMD A (特定非営利活動法人アマダ): 相互扶助の精神に基づき、災害や紛争発生時、医療・保健衛生分野を中心に緊急人道支援活動を展開。世界30カ国にある支部のネットワークを活かし、多国籍医師団を結成して実施。 http://amda.or.jp/</p>		
担当	指導第三課 直通 082-513-5041	提出年月日	平成23年4月22日

被災地への支援並びに被災地の高校との交流に係る報告会

1 概 要

広島県内の全公立高等学校・特別支援学校の生徒が、全県的に物品（文具等）の被災地支援活動を展開し、県立高校の生徒及び教員が特定非営利法人AMD Aの協力を得て、岩手県の被災地を訪問し、岩手県立大槌高校（避難所にもなっている）の生徒と昼食を共にしたり、本県の生徒が集めた支援物品を手渡しするなどの交流を行った。

こうした活動について、被災地へ訪問した高校生及び教員が教育長を訪問し、被災地で撮影した写真などを基に、活動内容を報告する。

また、大槌高校との交流について、県立高等学校・特別支援学校の生徒に報告する。

2 経緯等

3月22日（火）、AMD Aから県教育委員会に、支援活動に協力する旨の連絡

県教育委員会から県公立校等学校長協会（校長会）に協力を依頼

校長会が県内の全公立高等学校・特別支援学校112校へ連絡

各校で支援活動を展開、3月31日（木）に県立高校6校に物品をとりまとめ、4月5日（火）に福山誠之館高校に集約

文房具を中心に、大小の段ボールで約170箱収集

県立福山誠之館高校及び県立黒瀬高校の生徒及び教員が代表して被災地へ訪問することに決定（生徒各2名、教員各1名、計6名）

県立福山誠之館高校及び県立黒瀬高校の生徒が支援メッセージ1400通を作成

4月15日（金）、岩手県立大槌高等学校を訪問・交流

4月28日（木）、被災地へ訪問した高校生による報告会等

3 交流内容

4月15日（金）の岩手県立大槌高等学校での交流内容は次のとおり。

訪問時の挨拶

大槌高校の生徒と共に昼食・情報交換

大槌高校で避難生活をされている方々への食事の後片付け等の生活支援

大槌高校へ寄せられた物品の仕分け作業

大槌高校で避難生活をしている幼児・児童との交流

広島県からの支援物品を大槌高校生へ直接手渡し

岩手県立大槌高等学校との交流の様子

(1) 大槌高校の生徒と共に昼食・情報交換



(2) 広島県からの支援物品（文具等）を手渡し



(3) 各方面から大槌高校へ寄せられた物品の仕分け



(4) 大槌高校で避難生活をしている幼児・児童との交流

